

# 平成28年度 福祉教育実施状況調査 【集計／分析】

## 【Ⅰ 調査の目的】

本会では、平成26年度より「社協ボランティアセンター活動推進研究会」を立ち上げ、社協ボランティアセンターが抱えている課題等の現状・整理を行いながら「福祉教育」に焦点をあてて研究・協議を進めてきました。

今年度は、福祉教育プログラムの検討を行う予定であり、充実したプログラム内容を検討していくために、各市町村社協で行われている福祉教育の現状について標記調査を実施いたします。

## 【Ⅱ 調査対象】

41市町村社会福祉協議会

## 【Ⅲ 調査期間】

平成28年12月16日～12月28日

## 【Ⅳ 調査内容】

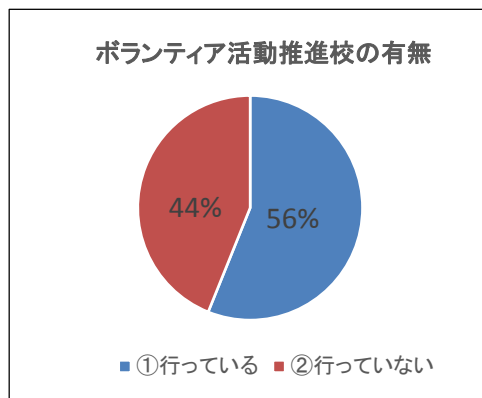
- ①ボランティア活動推進校指定の有無
- ②福祉教育活動・ボランティア学習の対象や内容
- ③学校との連携で課題に感じていること
- ④教育委員会との連携について

## 【Ⅴ 回収率】

41社協／41社協回答(回答率100%)

問1. 貴社協では、ボランティア活動推進校指定を行っていますか。

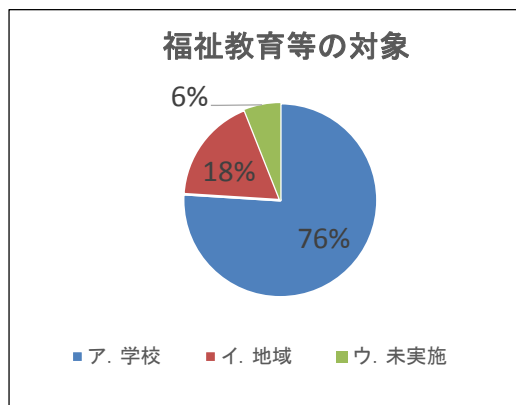
	回答数	割合
①行っている	23	56%
②行っていない	18	44%
合計	41	100%



過半数の社協(23社協:56%)が地域の学校に対し、ボランティア活動推進校として指定している。

問2. 貴社協の平成27年度実績における福祉教育活動・ボランティア学習の実施状況について、当てはまる対象をお選びください。(複数選択可)

	回答数
ア. 学校(幼稚園・小・中・高校)	38
イ. 学校以外の地域の団体	9
ウ. 未実施	3

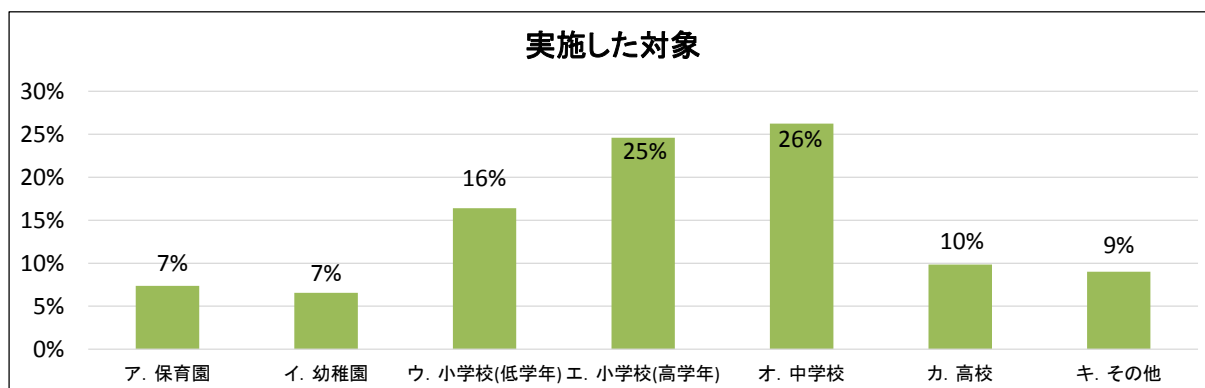


7割以上(38社協:76%)の社協が学校を対象に福祉教育・ボランティア学習を行っている。一方で学校以外の地域の団体に対し福祉教育・ボランティア学習を行っている社協は9か所(18%)にとどまっており、福祉教育未実施の社協も3か所(6%)存在するという結果になった。

問3. 問2で「ア」「イ」と回答した社協へお聞きします。実施した対象はどこですか。(複数選択可)

対象	回答数	割合
ア. 保育園	9	7%
イ. 幼稚園	8	7%
ウ. 小学校(低学年)	20	16%
エ. 小学校(高学年)	30	25%
オ. 中学校	32	26%
カ. 高校	12	10%
キ. その他	11	9%

その他 回答  
 ・地域の団体、地域住民等、一般、子ども育成会、NPO団体、自治会、病院等、教職員、小地域福祉ネットワーク、サマーボランティア体験研修



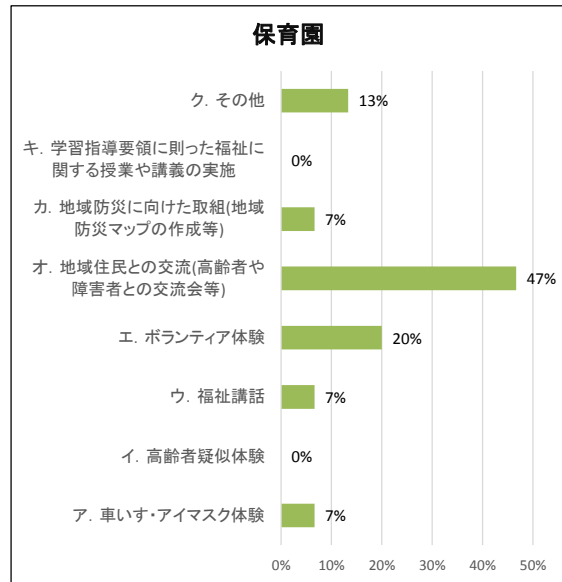
福祉教育・ボランティア学習を実施した対象について、一番多いのが中学校(32社協:26%)、次いで小学校(高学年)(30社協:25%)、小学校(低学年)(20社協:16%)となっている。

問4. 貴社協で実施した福祉教育活動・ボランティア学習の内容について、当てはまるものを下記選択肢からお選びください。(複数選択可)

選択肢

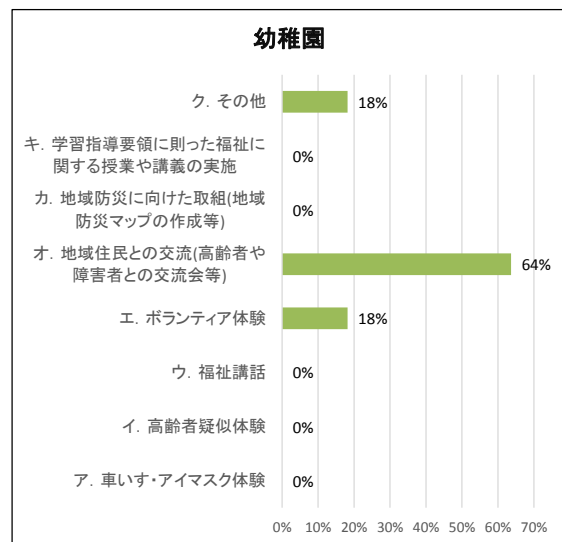
ア. 車いす・アイマスク体験    イ. 高齢者疑似体験    ウ. 福祉講話    エ. ボランティア体験  
 オ. 地域住民との交流(高齢者や障害者との交流会等)    カ. 地域防災に向けた取組(地域防災マップの作成等)  
 キ. 学習指導要領に則った福祉に関する授業や講義の実施    ク. その他

対象(保育園)	回答数	割合
ア. 車いす・アイマスク体験	1	7%
イ. 高齢者疑似体験	0	0%
ウ. 福祉講話	1	7%
エ. ボランティア体験	3	20%
オ. 地域住民との交流(高齢者や障害者との交流会等)	7	47%
カ. 地域防災に向けた取組(地域防災マップの作成等)	1	7%
キ. 学習指導要領に則った福祉に関する授業や講義の実施	0	0%
ク. その他	2	13%
合計	15	100%



ク. その他 回答  
 ・デイサービス等への慰問、夏休みボランティア・NPO活動体験

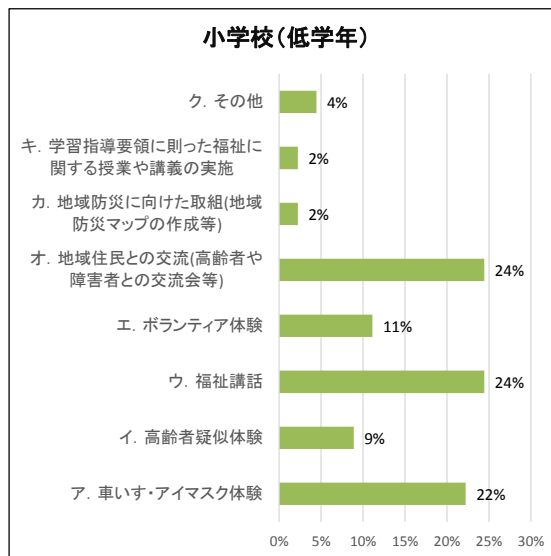
対象(幼稚園)	回答数	割合
ア. 車いす・アイマスク体験	0	0%
イ. 高齢者疑似体験	0	0%
ウ. 福祉講話	0	0%
エ. ボランティア体験	2	18%
オ. 地域住民との交流(高齢者や障害者との交流会等)	7	64%
カ. 地域防災に向けた取組(地域防災マップの作成等)	0	0%
キ. 学習指導要領に則った福祉に関する授業や講義の実施	0	0%
ク. その他	2	18%
合計	11	100%



ク. その他 回答  
 ・デイサービス等への慰問、夏休みボランティア・NPO活動体験

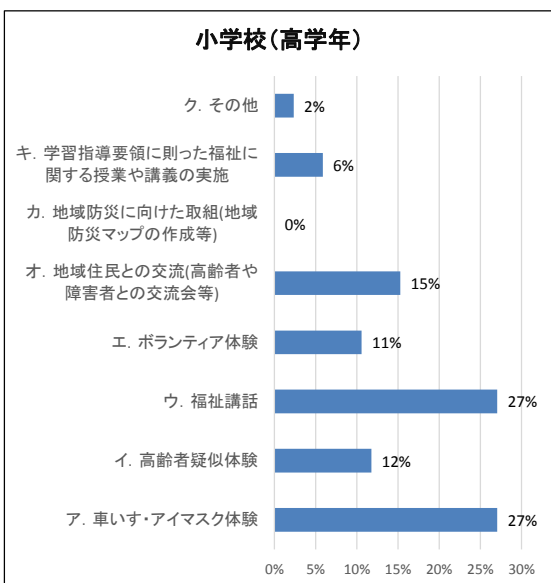
対象(小学校 低学年)	回答数	割合
ア. 車いす・アイマスク体験	10	22%
イ. 高齢者疑似体験	4	9%
ウ. 福祉講話	11	24%
エ. ボランティア体験	5	11%
オ. 地域住民との交流(高齢者や障害者との交流会等)	11	24%
カ. 地域防災に向けた取組(地域防災マップの作成等)	1	2%
キ. 学習指導要領に則った福祉に関する授業や講義の実施	1	2%
ク. その他	2	4%
合計	45	100%

ク. その他 回答  
・夏休みボランティア・NPO活動体験、手話体験



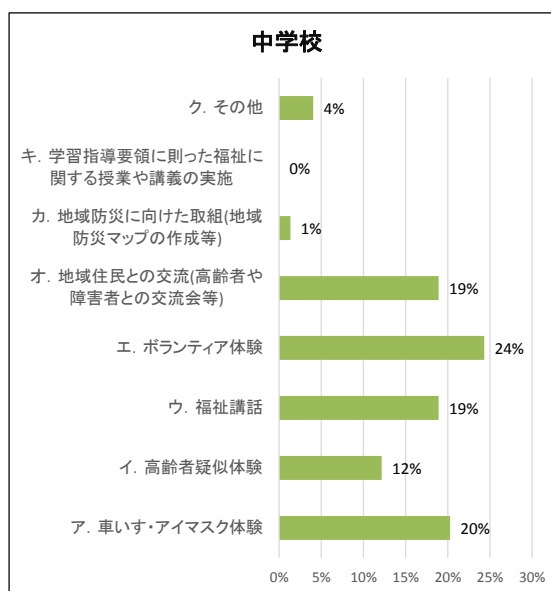
対象(小学校 高学年)	回答数	割合
ア. 車いす・アイマスク体験	23	27%
イ. 高齢者疑似体験	10	12%
ウ. 福祉講話	23	27%
エ. ボランティア体験	9	11%
オ. 地域住民との交流(高齢者や障害者との交流会等)	13	15%
カ. 地域防災に向けた取組(地域防災マップの作成等)	0	0%
キ. 学習指導要領に則った福祉に関する授業や講義の実施	5	6%
ク. その他	2	2%
合計	85	100%

ク. その他 回答  
・夏休みボランティア・NPO活動体験、障害スポーツ体験(講話、車いすサッカー・風船バレー)



対象(中学校)	回答数	割合
ア. 車いす・アイマスク体験	15	21%
イ. 高齢者疑似体験	9	12%
ウ. 福祉講話	14	19%
エ. ボランティア体験	18	25%
オ. 地域住民との交流(高齢者や障害者との交流会等)	14	19%
カ. 地域防災に向けた取組(地域防災マップの作成等)	1	1%
キ. 学習指導要領に則った福祉に関する授業や講義の実施	0	0%
ク. その他	3	3%
合計	74	100%

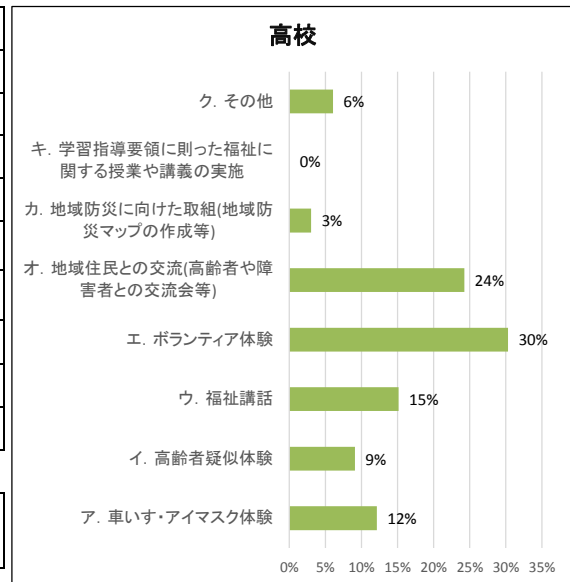
ク. その他 回答  
・車椅子レクダンスイベント体験、児童・高齢者・障害者施設体験



対象(高校)	回答数	割合
ア. 車いす・アイマスク体験	4	12%
イ. 高齢者疑似体験	3	9%
ウ. 福祉講話	5	15%
エ. ボランティア体験	10	30%
オ. 地域住民との交流(高齢者や障害者との交流会等)	8	24%
カ. 地域防災に向けた取組(地域防災マップの作成等)	1	3%
キ. 学習指導要領に則った福祉に関する授業や講義の実施	0	0%
ク. その他	2	6%
合計	33	100%

ク. その他 回答

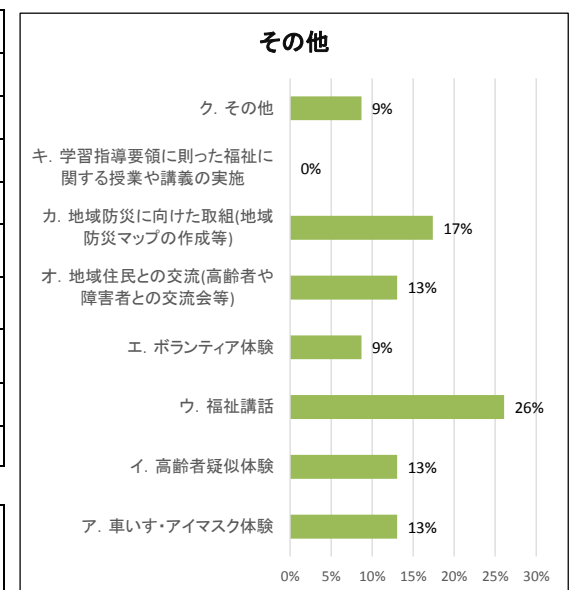
・児童・高齢者・障害者施設体験、サービスラーニング



対象(その他)	回答数	割合
ア. 車いす・アイマスク体験	3	13%
イ. 高齢者疑似体験	3	13%
ウ. 福祉講話	6	26%
エ. ボランティア体験	2	9%
オ. 地域住民との交流(高齢者や障害者との交流会等)	3	13%
カ. 地域防災に向けた取組(地域防災マップの作成等)	4	17%
キ. 学習指導要領に則った福祉に関する授業や講義の実施	0	0%
ク. その他	2	9%
合計	23	100%

ク. その他 回答

・地域住民や関係機関等と連携し、学習研修、交流会等を行っている。  
・児童・高齢者・障害者施設体験



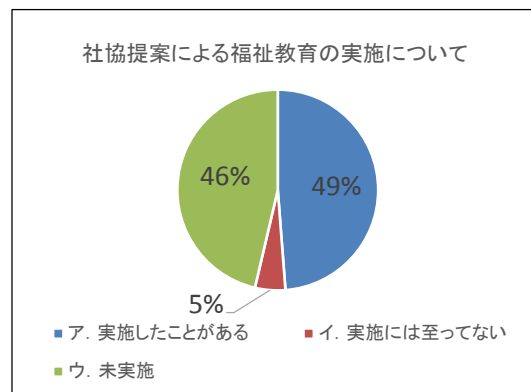
学校を対象とした福祉教育の傾向としては、

- ・保育園では、「地域住民との交流(高齢者や障害者との交流会等)」が最多(47%)
- ・幼稚園では、「地域住民との交流(高齢者や障害者との交流会等)」が最多(64%)
- ・小学校(低学年)では「福祉講話」「地域住民との交流(高齢者や障害者との交流会等)」が最多(24%)
- ・小学校(高学年)では「車いす・アイマスク体験」「福祉講話」(27%)
- ・中学校では「ボランティア体験」(24%)
- ・高校では「ボランティア体験」(30%)
- ・その他では「福祉講話」(26%)

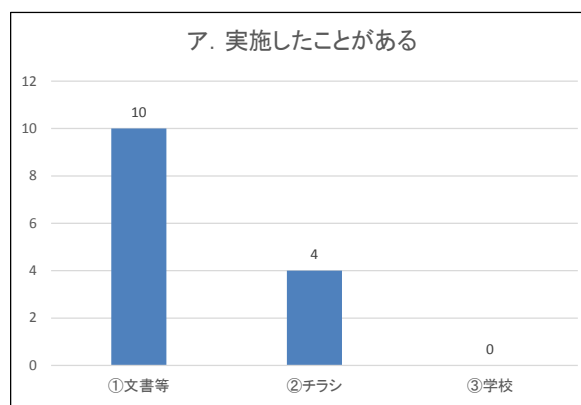
が最多となっており、年齢別により福祉教育・ボランティア学習の内容が変わってくる事が確認できた。

問5. 貴社協提案による学校を対象とした福祉教育プログラムを実施したことはありますか。

	回答数	割合
ア. 実施したことがある	20	49%
イ. 提案したが実施にはいたっていない	2	5%
ウ. 実施したことがない	19	46%

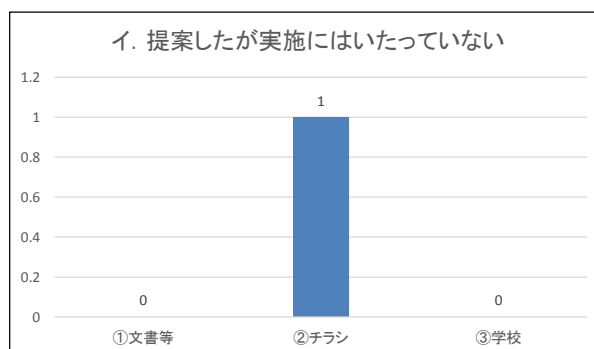


	回答数
ア. 実施したことがある	20
①文書等で案内した	10
②チラシなどを配布している	4
③学校へ直接出向き、福祉教育についての説明を行っている	0



④その他
・校長会にて福祉教育の案内
・福祉センターで先生と会議(打合せ)
・助成金説明会の際に説明している
・確立したプログラムをまだ作っていない
・ボランティア担当の先生に提案(来所事務局長や会議の後で)

	回答数
イ. 提案したが実施にはいたっていない	2
①文書等で案内した	0
②チラシなどを配布している	1
③学校へ直接出向き、福祉教育についての説明を行っている	0



④その他 回答なし
-----------

学校を対象とする福祉教育において、学校へのプログラムの提案を行っている社協の割合(選択肢ア・イ)は54%(22社協)と過半数を占めている。また、提案を行った22社協のうち、20社協はプログラム実施につながっていることから、社協から学校へのプログラム提案は、プログラム実現につながりやすいという結果が見てとれた。提案方法は「文書等」による案内が最も多く(10社協)、次いで「チラシ」による案内(4社協)であった。その他の意見として、「校長会にて案内している」等もあげられている。

## 小・中学校を対象とした福祉教育プログラムにおける、各プロセスの課題傾向についてまとめ

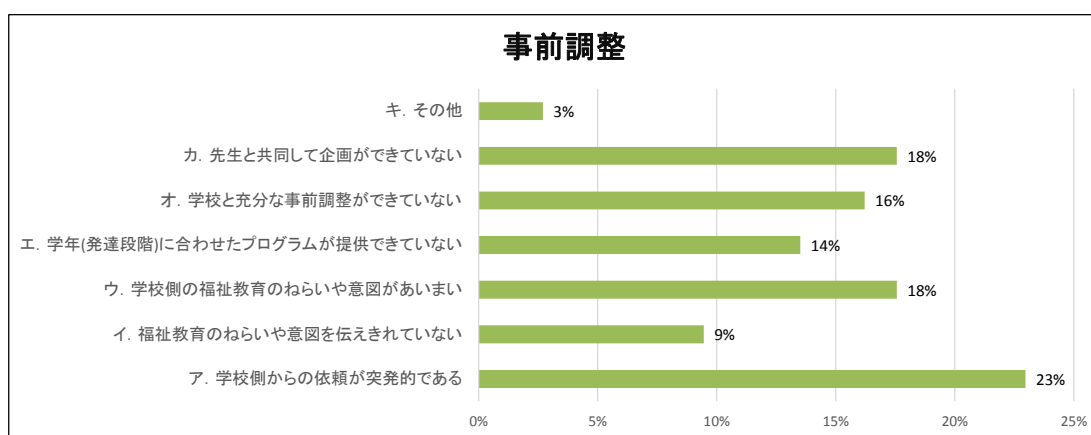
小・中学校を対象とした福祉教育プログラムにおける学校との連携体制についてお聞きします。

問6. 学校との連携で課題に感じていることはありますか。(複数選択可)

事前調整	回答数	割合
ア. 学校側からの依頼が突発的である	17	23%
イ. 福祉教育の狙いや意図を伝えきれていない	7	9%
ウ. 学校側の福祉教育のねらいや意図があいまい	13	18%
エ. 学年(発達段階)に合わせたプログラムが提供できていない	10	14%
オ. 学校と十分な事前調整ができていない	12	16%
カ. 先生と共同して企画ができていない	13	18%
キ. その他	2	3%

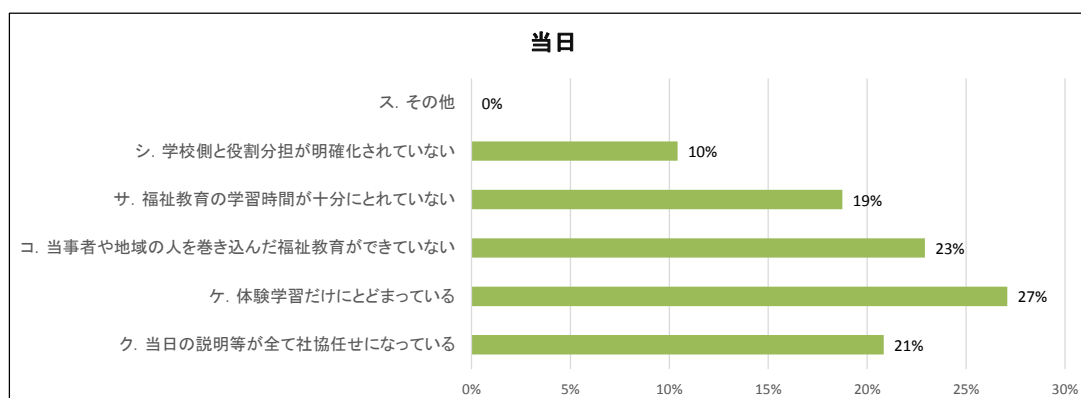
その他 回答

- ・順調にできている。
- ・社協側のプログラム提案が限られているので、多くのプログラムを用意できていない。



事前調整段階における課題として、一番多く挙げられていたのが「学校側からの依頼が突発的である」(17社協:23%)であった。次いで、「先生と共同して企画ができていない」(13社協:18%)、「学校側の福祉教育のねらいや意図があいまい」(13社協:18%)などであった。その他の意見として「社協側もプログラムが限られており、多くのプログラムを用意できていない」という意見も上がっている。

当日	回答数	割合
ク. 当日の説明等が全て社協任せになっている	10	21%
ケ. 体験学習だけにとどまっている	13	27%
コ. 当事者や地域の人を巻き込んだ福祉教育ができていない	11	23%
サ. 福祉教育の学習時間が十分にとれない	9	19%
シ. 学校側と役割分担が明確化されていない	5	10%
ス. その他	0	0%

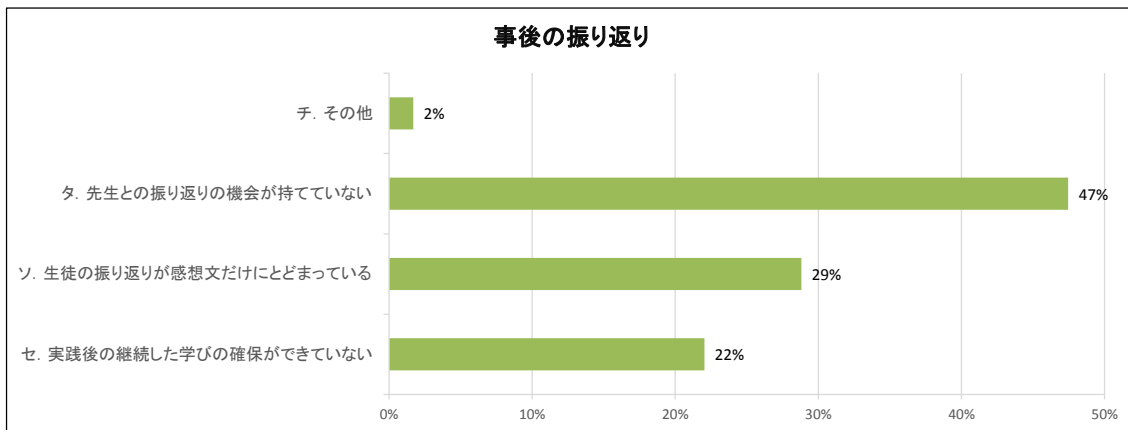


当日の課題としては、「体験学習だけにとどまっている」(13社協:27%)が一番多く挙げられており、次いで「当事者や地域の人を巻き込んだ福祉教育ができていない」(11社協:23%)が挙げられている。

事後の振り返り	回答数	割合
セ. 実践後の継続した学びの確保ができていない	13	22%
ソ. 生徒の振り返りが感想文だけにとどまっている	17	29%
タ. 先生との振り返りの機会が持てていない	28	47%
チ. その他	1	2%

その他 回答

・体験後に社協が関わっていない

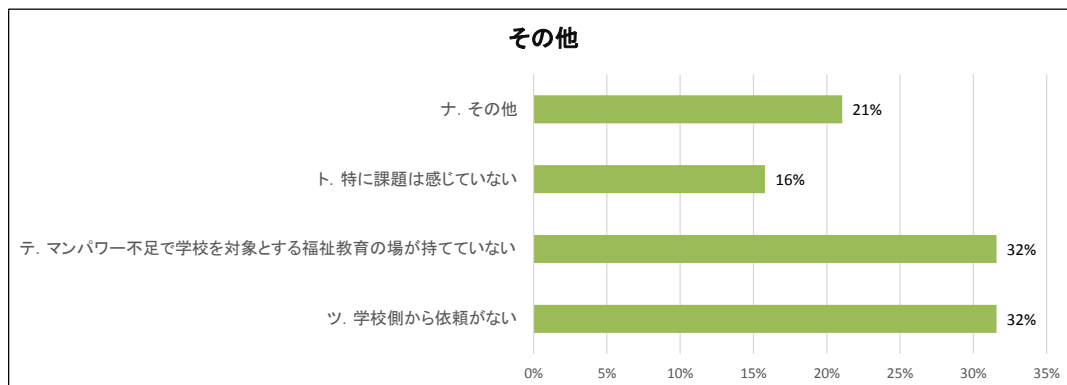


事後の振り返りの課題として、一番多く挙げられていたのが「先生との振り返りの機会が持てていない」(28社協:47%)で、ついで「生徒の振り返りが感想文だけにとどまっている」(17社協:29%)となっている。その他として、「体験後に社協が関わっていない」という意見も挙がっている。

その他	回答数	割合
ツ. 学校側から依頼がない	6	32%
テ. マンパワー不足で学校を対象とする福祉教育の場がもてない	6	32%
ト. 特に課題は感じていない	3	16%
ナ. その他	4	21%

その他 回答

・福祉教育担当教員に熱心な先生の場合は依頼がある。その教員が転勤した時は依頼がない為、推進できない点が課題。  
 ・体験学習のプログラムをふやせるよう、担当のスキルアップ、経験値を上げられるような学習が必要  
 ・担当の先生による取組の差が大きい  
 ・疑似体験等に代わる内容の提供ができていない

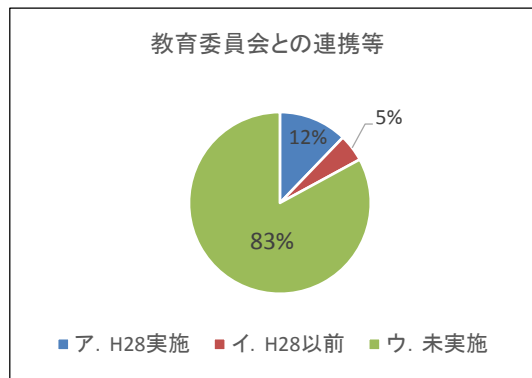


その他の課題として、「学校側から依頼がない」(6社協:32%)、「マンパワー不足で学校を対象とする福祉教育の場が持てていない」(6社協:32%)が挙げられている。その他として、「プログラムの充実」や「担当の先生による取組の差が大きい」などの意見が挙げられている。



問7. 教育委員会と連携・役割分担の下に学校対象の福祉教育プログラムを実施したことはありますか？

	回答数	割合
ア. 平成28年度に実施した	5	13%
イ. 平成28年度以前に実施したことがある	2	5%
ウ. 未実施	34	83%



ア. 実施したことがある【具体的な内容】
キャリア教育コーディネーターと協同し、体験学習、地域の福祉施設と講話・交流を行っている。
①福祉とは ②ユニバーサルデザイン(学校探検) ③車いす体験
教育講演会～みんなの学校～グループワーク
キャリア教育コーディネーターと連携し、社協の役割等について授業を行った。(3日間)
教諭向け福祉教育研修会(初任者・10年経験者教諭等を対象)

イ. H28年度以前に実施したことがある【具体的な内容】
子どもモニター部会うらそえ調査隊
学校教育初任者研修会

教育委員会と連携した福祉教育の実施については、「実施したことがない」が8割以上を占めており、「実施したことがある」社協については7社協に留まっている。